



いのちを守る、平和を守る



息を吐くように嘘をつく、と言われる安倍首相、年頭の会見で、憲法改「正」に対する考え方に言及し、「国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の基本理念は変わらない」と強調しました。これも大きなゴマカシであり、誰が信用するでしょうか。

安倍政権はこれまで、特定秘密保護法、戦争法、共謀罪法等、反動法案を次々に国民の声を無視し、強行採決を繰り返してきました。



日本国憲法をないがしろにし、国権の最高機関の国会を軽視し、

ひたすらアメリカの武器を購入し、「国防費」を4年連続で過去最大の5兆2千億に迫る予算を計上しました。

「焼き場に立つ少年」の写真、長崎で被爆し、死んだ弟を背負い火葬しに来た裸足の少年。決して弟が焼かれる様子を見なかつたそうです。

ローマ法王が、この写真に「戦争の結果」という言葉を添え、昨年暮れに配布、「少年の悲しみは、かみしめて血のにじんだ唇に表れている」と説明も付加された、と報道されていきました。

平和は、誰かが与えてくれるものではありません。私たち一人ひとりが、自らの問題として「いのちを守る」たたかいなくして、平和な社会はつくれません。職場の闘いと連帯して、まず一步を踏み出しましょう。

労働大学副学長 須藤 行彦